

県内最後の行進訪問 東かがわ市で三役が激励

いよいよ明日は徳島県と合流、国民平和行進四国コースの終着集会開催！！

朝 JR 丹生駅には、協同病院や民医連・民青・香商連などの行進者が集まります。ここから東かがわ市役所までは3時間のコースです。東本東かがわ市議の姿をみて、市民が手を振ります。国道11号線の幹線道路で交通量が多く、行進車の進路確保に集中力が必要です。しかし行進者の足が速く、予定より1時間早く東かがわ市に到着しました。

午後、東かがわ市役所前には、土曜日にも関わらず、平和行進団の出発にあたって上村一郎市長、橋本守議長、竹田具治教育長の三役がそろい踏みです。

出発式は東本政行市議の司会で進められ、最初に上村一郎市長が、行進団のご苦勞に敬意を表すとともに、核兵器をなくし、平和を続けていく力、その源は皆様方の力にありますと強調して激励のあいさつをしました。なお上村一郎市長は県内最年少（38歳）の市長で初当選です。

次に橋本議長があいさつ、昭和19年生まれの同議長は広島を訪ねて、原爆の恐ろしさも実感している、議会としても東本議員とともに平和運動に関わっていききたいと述べました。さらに竹田教育長は中学生を広島・長崎・沖縄に派遣して平和学習に取り組み、修学旅行でも語り部から話を聞いているなどと語り、行進団を激励しました。

また、久保武東かがわ市職労書記長、野崎孝司東さぬき民商事務局長が連帯のあいさつを行いました。東かがわでも、平和への共同が進んでいることを実感しました。



JR丹生駅でさあ！出発



東かがわ市庁舎玄関前で市三役と